



学園だより

准看護学科1年生は「基礎看護技術Ⅲ」で、理学療法士の金岡講師の指導のもと、安全で効率よく、看護者と対象者の両者に負担を与えない移乗動作の方法を学びました。学生は、自分の体重の数倍ある男子学生を、てこの原理や重心移動を利用してベッド上で移動させる金岡講師の行為に思わず、驚嘆の声をあげていました。



准看護学科2年生は「臨床看護概論Ⅱ」の講義で、手術室での手洗いの方法、ガウンの着脱や手袋の装着を体験しました。学生は、清潔・不潔を意識した手順に苦戦しながらもガウンを着た自分の姿に目を輝かせていました。



看護学科1年生は、5月31日に「社会福祉」講義の一環として難病患者さんの体験談を聴きました。これは、富山県社会福祉協議会が実施している難病患者支援啓発事業のひとつです。医療職等を目指す学生を対象に、当事者が体験を伝えることにより難病の理解と患者支援の啓発を目的として実施されています。学生は、はじめに富山県難病相談・支援センター統括相談支援員の沼田佳奈子氏より難病に関する支援について説明を受けました。



そして、①「患者や家族の思い」、②「潰瘍性大腸炎と闘って」と題した当事者からのメッセージを受け取りました。聴講後の学生からは「今後の仕事や、看護師になった時に生かせる講義でした」「『中途半端な気持ちなら看護師にならないほうがよい』という言葉にぐっときました」などの感想が寄せられました。

看護学科2年生は5月26・27日、2日間の研修旅行に参加しました。第1日目は4人1組のグループに分かれての自由活動です。昨年度から各グループで行先や予算、役割分担などを話し合い、新型コロナウイルス感染状況を踏まえての計画立案・実施となりました。八尾や岩瀬など富山市内を各グループで自由に回り、お腹いっぱい笑顔いっぱいの1日を過ごしました。第2日目はそれぞれのグループ活動をみんなに伝えるプレゼンテーション大会です。プレゼン大賞を目指し、パワーポイントを使用した動画や写真、寸劇を取り入れた発表に大いに盛り上がりました。例年とは内容が異なる研修旅行でしたが、2日間の活動を終えた学生たちは存分に見聞と交流を深めたようでした。



看護学科3年生は、2年次から始まった臨地実習も終盤となり、いよいよ最終目標である国家試験合格に向けて気持ちが高まってきているところです。充実の夏を過ごし、実りの秋、試練の冬を越え、喜びの春を迎えて欲しいと思っています。

それぞれの学科・学年で、学生たちはそれぞれの思いを抱えながら学校生活を送っています。がんばれ看護学生！

《学校行事》

8/22 (月) 始講

8/23 (火) 准2年生 独立行政法人国立病院機構富山病院実習開始

9/2 (金) 准(看)1年生

富山県看護教育機関連絡協議会主催 第29回 学生交流会

9/7 (水) 准1年生 戴灯式

9/12 (月) 准1年生 基礎看護実習開始

9/16 (金) (看)3年生 実習終了 2年生基礎看護実習開始

9/28 (水) (看)1年生 小児看護学実習I開始

10/1 (水) オープンキャンパス